（様式２）

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

|  |  |
| --- | --- |
| 議題 | 大阪にふさわしい大都市制度のあり方について副首都・大阪の確立、発展に向けた取組みについて |
| 日時 | 平成29年８月３日(木)　１６時４５分　～　１７時３０分 |
| 場所 | KIEFEL COFFEE 1963（なんばＷＡＬＫ店） |
| 出席者 | (特別顧問・特別参与)：赤井特別顧問(職員等)：副首都推進局制度企画担当課長、制度企画担当課長代理 |
| 論点 | ○大阪市における総合区の制度設計の考え方について○特別区制度の検討の進め方等について○副首都ビジョンについて |
| 主な意見 | ・市民にとっての利便性向上に、どこまでのコストをかけてやっていくのか。メニューコストの観点から、総合区を導入するメリットについて、具体的かつ分かりやすい市民への説明が必要。・総合区と特別区とを比較した場合、特別区においては、コストもかかるので、実際に使えるお金は減るはず。特別区の実施には、使えるお金が少し減ったとしても、自由に使えるお金によるメリットがあることを、具体的かつ分かりやすい市民への説明が必要。・特別区の４区案・６区案について、財政基盤の安定と均衡の観点から考えたということであるが、東京特別区ほどの格差はつかないのではないか。財政調整も行われる中で、色んなパターンの区割りが考えられるはず。市民の理解という観点からは、区割りも重要な要素の一つであり、地域コミュニティ・歴史的経緯などの具体的視点についても、丁寧な議論と説明が必要。 |
| 結論 | 特別顧問のご意見を踏まえ、引き続き検討を進める。・各資料のデータは、当概要データと同様にホームページへ掲載してください。 |
| 説明等資料 | ７月１４日区長会議資料（<http://www.city.osaka.lg.jp/templates/chonaikaigi2/shimin/0000406227.html>）区割り変更案総合区素案（案）【８月１日時点】[パンフレット「副首都ビジョン」](http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/27077/00259534/pamphlet.pdf) |
| 備考 |  |
| 関係部局（室課） |  |